

飲酒防止の取り組みで全国最優秀賞を受けた曾於高校の保健委員ら一
東京・野村コンファレンスプラザ日本橋 (ビール酒造組合提供)



飲酒防止教育学校コンクール

曾於高が最優秀賞

曾於市の曾於高校が、2019年度「20歳未満飲酒防止教育学校コンクール」高校部門で最優秀賞に選ばれた。昨秋に全校生徒を対象にした飲酒アンケート、未成年者の飲酒防止を呼び掛けるリーフレットづくりを実施。単なる啓発活動にとどまらず、保健委員自らが生徒への飲酒防止教育に取り組んだことも高く評価された。

全校アンケート基に広く啓発

同コンクールはビール酒造組合(東京)が02年度に「ポスター・スローガン・学校賞募集キャンペーン」として始め、17年度から活動内容を競う形になった。今回は全国から43校が応募、小中高校と特別支援学校の4部

門で表彰があった。曾於高は2学期から取り組みを始め、10月に全校アンケートを取った。その結果、飲酒経験があるとした生徒のうち、冠婚葬祭時に親など家族から勧められたとの回答割合が高

このため、保健委員らは「飲酒を防ぐには、大人の意識を変える必要がある」と考え、一般向けのリーフレットを作成。11月にあったそお市民祭や同校文化祭で500部を配り、来場者に20歳未満の飲酒が健康に与える影響

について訴えた。このほか、アルコールへの耐性を調べるパッチテストを昼休みに実施したり、保健委員が飲酒体験ゴーグルを使って1年生に飲酒防止を指導したりした。

(三宅太郎)